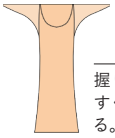
ラケット基礎情報

ラケットはグリップやブレードの形状によって分類されます。主な種類とアイコンなどを紹介します。

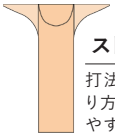
代表的なラケットの形状

■シェークハンドラケット

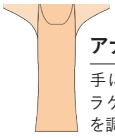
握手をするようにグリップを持つことからこの名がついています。両面にラバーを貼って使用します。
現在の主流ラケットで、多くのプレーヤーが使っています。



フレア型
握りを固定しやすく安定感がある。



ストレート型
打法によって握り方の調整がしやすい。

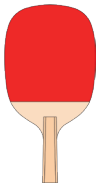


アナトミック型
手にフィットしてラケットの角度を調整しやすい。

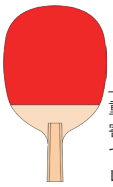
テナリー型
手の平になじみやすく、力が伝わりやすい。

■日本式ペンラケット

ペンを持つようにグリップを握るもので、以前は国内で最も多く使われていました。片面だけにラバーを貼って使用することが多かったのですが、現在は両面に貼ってプレーの幅を広げる選手も増えています。



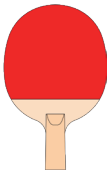
角型
先端寄りに重心があり、後陣からのドライブの威力を出しやすい。



角丸型
重心がグリップ寄りで、前中陣での連続したプレーがしやすい。

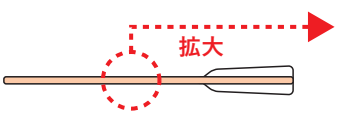
■中国式ペンラケット

シェークハンドラケットのグリップが短くなったような形状で、日本式ペンと同様に、ペンを持つようにグリップを握ります。両面にラバーを貼って使用することが多いです。



ラケット合板構成

ラケットのブレード部分の板の構成はだいたい以下のように分類できます。



単板
1枚の板でできている
（日本式ペンに多い）

合板（5枚）
複数の板でできている
（3枚・5枚・7枚など。枚数が多くなるほど弾みがよくなる傾向がある）

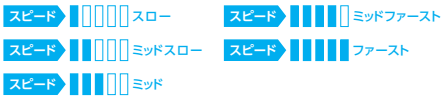
特殊素材入り合板（合板5枚+2枚）
板と板の間に特殊な繊維素材をはさむことで、弾みがよくなったり、スイートエリアを広げる効果がある

ラケットアイコン説明

■戦型

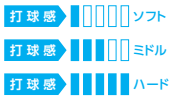
攻撃時に威力が出る攻撃用、
適度な弾みで扱いやすいオールラウンド用、
大きいブレードで弾みを抑えた守備用

■スピード



フラットに打った際の弾み
ファーストに近いほどボールの飛び出しが速い

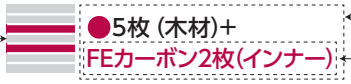
■打球感



合板の硬さ、しなりの度合いなどを考慮して振り分けた打球時の感覚

■合板構成

合板構成イメージ
（グレーが木材・色付部分が特殊素材）



■サイズ

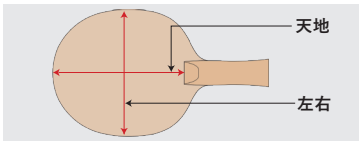
コンパクトサイズ
もしくは軽量タイプ

ウッドエッジガード

ラケットサイドに板を薄く貼って保護します。台にぶつけても割れにくく、ラケットの扱いに慣れていない方に安心な機能です。

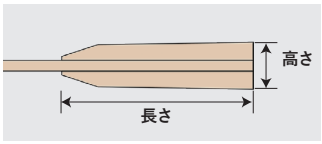
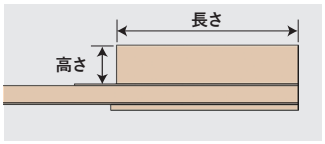
ブレード・グリップのサイズ表記

■ブレード



■グリップ

シェーク
中国式ペン



日本式ペン
反転式ペン